

いまこそ平和の大切さを繰り返し学習しましょう

いのちを守ることを何よりも大事に!

海外の紛争や飢餓など知ってはいても、まさかと思ったウクライナ侵攻。戦争が毎日テレビから飛び込んでくるショック。改めて、いのちと健康を最も原点に考えている私たち医療生協として今何ができるのかを考え、学び、行動することが大事です。



題字 清水旨伸

発行
米子医療生活協同組合
機関紙編集委員会

〒683-0052 米子市博労町3丁目80-1
TEL.35-5123 FAX34-1227
(メディアコートにじの里おおたか) TEL.21-5942
(ヘルパーステーションおおたか) TEL.21-0041
(デイサービスおおたか) TEL.21-0025
(医療生協おおたか診療所) TEL.27-9190
(医療生協米子診療所) TEL.34-1201
(デイサービスたんぼぼ) TEL.21-3388
(医療生協弓ヶ浜診療所) TEL.25-6030
(デイサービス弓ヶ浜) TEL.25-6250
(COOP訪問看護ステーションなないろ) TEL.38-5330
(COOP医療生協居宅介護支援センター) TEL.38-5333
(訪問リハビリテーション) TEL.21-9090

現勢 2022年4月末日現在
組合員 6,564人
出資金総額 124,893千円
班数 48班
班会開催 27回

戦争体験を聞き、後世へ引き継いでいきます。

私たちは患者さん、利用者みなさんや地域の方々と共に、なによりもいのちと健康を守ることをめざして医療・介護の事業をすすめています。そういう観点から、いのちと健康を最もないがしろにする戦争政策に反対しています。

そして二〇二〇年に「戦争体験集」を発行しました。戦争を知らない職員が「つらい」「怖い体験」を聞き集め、いま「第二集」の体験集めをしています。取材途中のお話を紹介します。

「歴史を知ることが大切」

江府町 宇田川満さん (九一歳)



終戦時一五歳だった宇田川さんは「江府町なので空襲などはなかったが桑の木の皮、栗の渋皮、ウサギの毛皮などなんでも供出した。子どもたちも戦争に協力させられた」実際に何がそのとき起こったのか、体験者の話を残すことが大事」と語る。宇田川さんは、日本中国友好協会米子支部理事長として九一歳の今も活躍しています。

大山口列車空襲の日

米子市 小西英子さん (九三歳)

昭和二〇年七月のあの日、一八歳だった私は駅員として大山口駅に勤務していました。空襲警報が鳴り、日本海の方から飛行機が来て攻撃されました。私は駅前の桜の木の下にある穴に隠れようとしたが避難した人でいっぱい入れず、駅舎にもどりの机の下に隠れました。列車は八両でしたが一両目から三両目に乗っていた人はほとんどが亡くなりました。赤十字のマークを屋根につけた負傷兵を乗せた車両だったので。踵がとれた兵隊さんを担架のような板で運んでいる途中で二度目の攻撃がありました。隠れたのでその後兵隊さんがどうなったのかわかりません。三つ年上の、赤十字病院の看護婦のOさんが亡くなったのが気の毒で忘れられません。

2022年平和のための戦争展

日時：8月7日(日)
会場：米子市文化ホール
企画：被爆ピアノ演奏会
※広島原爆を受けたピアノを補修して全国を回っている「被爆ピアノ」が米子にやってきました。
展示：原爆パネル、書籍など

長崎の被爆者が語る

～被爆体験講話～

〇8月6日(土)
〇米子市立図書館 2階 研修室



八木道子さん (長崎市で被爆)
※感染予防のため人数制限があります。マスク着用で来場ください。

「小西さんの話を聞いた職員感想」

・七七年たった今でも鮮明に覚えていて詳しく説明された。とても怖く、つらい記憶を蘇らせてしまうと思うと準備していた質問をすることもためらわれた。このような惨状を繰り返さないために、私たちが悲しい記憶を残し伝えていかねばと思った。(E)

・大山口列車空襲については知識としては知っていたが、十代でこんな恐ろしい体験をなぜしなくてはいけないのか言葉がでなかった。赤十字を付けていても攻撃され一瞬で命を落としてしまう。そんな理不尽なことを起こすのが戦争なのだと思つた。絶対に繰り返さない。



小西さんのようにデイサービス利用者の中には受け継ぐべき貴重な体験をした方が大勢おられます。

繰り返さない。絶対に繰り返さない。

「平和と憲法を考える」

学習会の感想文 (抜粋)

「平和」「憲法」を訴えると世の中では煙たがられるように感じる。本当はとても重要なことなのですが…。学校教育でもっと力が入れると良いと思う。

いま日本は平和だが、ウクライナのようなことがいつ起こるのかわからない状態でもあるのかなと思う。そういうときに少しでも知識があると違うと思う。参加して良かった。

憲法が大切ということはわかったが、ウクライナの戦争をはやくやめさせてほしい。性暴力の危険がある女性にとっても大きな被害になると思う。戦争反対を訴えていきたい。

4月28日に川田忠明さん(日本平和委員会常任委員)のオンライン学習会を開催しました。職員45人と理事など50人が参加しました。

「平和に生きる権利と日本国憲法」と題し、「女性の参加が平和に必要」(ジェンダー平等)「平和を実現するには憲法をどう使い、どう生かすか」「世界も社会も一人から変わる」など、多くの示唆を受けた学習でした。

ロシアによるウクライナ侵攻の最中の学習会に参加した人から多くの感想が寄せられました。

平和とは個人の権利、絶対を守るべきものである。守りぬくために1人ひとりが声をあげ国や社会、政治を変えていかなければと思った。

現在戦争が起こっており、日本もいつ何が起きるかわからない。平和になるためには女性の参加も必要。男女平等に対する必要性など学びたい。

TVで毎日流れていると、どれが真実でどれが間違っているのかわからない所が沢山あったが大事な事は何か(守られるべき権利など)少しではあるが学ぶことができた。

組合員活動 2021年度の到達と2022年度の目標

276人の仲間が増えて6,570人、1,855万円の出資金が増えて残高1億7,362万円になりました。

班会に一五〇〇人以上参加

コロナ禍でもしっかりと対策をして、班会や保健大学でフレイル予防を実践しました。

コロナ禍でさまざまな制約を受けながらも感染予防を徹底しながら保健大学や班会などを開催しました。おたか支部と米子支部で回数を減らし、定員を減らすなど工夫して保健大学を開催、新しい保健委員も誕生しました。班会は一年間で二四三回開催され、延べ一五〇〇人以上が参加しました。この度二年ぶりに新しい班会が誕生します。

この二年間の自粛期間で培ってきたノウハウや経験を活かして楽しい、そして元気になる活動をする。健康になる活動をこれからもじゅうで展開しましょう。

仲間増やしと出資金増やしの目標は四支部と各事業所が決定します。

今年も「地域まるごと健康づくり」

「三つのフレイル予防」をキーワードに、バランスの良い食事、おうちで運動、社会参加に心がけましょう。

仲間増やしと出資金増やしの目標は四支部と各事業所が決定します。



二〇二一年度は新型コロナウイルスの感染拡大で閉じこもりがちでしたが、しっかりと予防して活動をすすめました。弓ヶ浜支部の健康ウォーキングはSDGsを意識して海岸清掃をしました。

運動と幸福ホルモン

皆様、こんにちは。今回はおススメの運動「筋トレ」を紹介いたします。ある文献によると、「運動」を行うと人生の満足度が高まる、と書かれています。うーん？なぜ運動は人を幸福にするんだろう？と思いますよね。

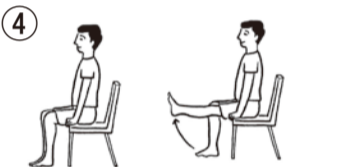
この理由ですが、人は運動を行うと「エンドルフィン」という幸福ホルモンが出ます。これが人の幸福感を満たしてくれるのです。またその他にも、運動によってほかの脳内化学物質全体が活性化されます。その影響により「不安が和らいだり」「エネルギーが湧き上がった」「人との絆が強まったり」など、さまざまな効果が得られる、と報告されています。

さらに付け加えますと、「定期的な運動」は脳の構造に物理的な変化をもたらします。そのため、喜びの感情や人とのつながりを感じやすくなる、とも言われています。また、「定期的な運動」は脳や神経系を良い方向に変化させます。その変化は、うつ病や様々な各種依存症の最先端治療の効果に匹敵する、とも言われているんです。いや、「運動（特に定期的）」の効果ってすごいですね。

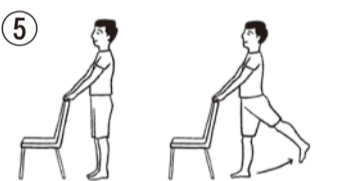
レッツトライ 健康体操

COOP 訪問リハビリテーションピース 所長 稲田修敏

おすすめの運動 Part2



椅子に浅く腰かけて、片膝を最大まで伸ばす



椅子の背もたれを軽く持ち、背筋を伸ばして立つ。片足膝を伸ばしたまま、後ろへ伸ばしていく



仰向けで両手を頭の後ろへ組み、右肘と左膝を近づけ、元の姿勢に戻る。次に、左肘と右膝を近づける

う!!

では前回の体操（運動）の続きをご紹介します。

左記各動作のポイントは、以下の3つとなります。

- ① まっすぐ美しい姿勢で、深呼吸をしてから行う
- ② 各運動時には、「1. 2. 3」と大きな声を出して、3秒かけてゆっくり動かし、1秒止めて、元の姿勢に戻す際に3秒かけてゆっくり動かす
- ③ 各10回（左右を1セット）3セットで、週3回〜毎日実施する

なるべく仲間と一緒に運動を行い毎日（定期的に）実施することが大切です。

安全にできる範囲の運動を実施しましょう。運動中にケガをしては意味がないですからね。

インターネットを閲覧できる方は、YouTubeに「30代、40代でも「寝たきり予備軍」に!? 老けない「筋トレ」教えます」で検索すると無料公開動画がありますので、それを見ながら実施してみてください。動画を見れない方は、これを機会に家族や友人、知人にインターネット閲覧を頼みましょう。運動の仲間づくりの機会になるかもしれませんよ。さあ、皆さん。早速、今日この時から「自分らしい健康」に向けて、第一歩を踏み出しましょう!!

羅針盤

「人権」の視点で 2022年度の活動に臨みましょう!!

専務理事 加藤 公司

新型コロナウイルス感染症の影響は二年半に及び、現在でも収束は見通せません。感染症に対する恐怖、社会的孤立、失業と貧困、経済格差・健康格差は急速に拡大しています。

ウクライナからは、大切な人の命を奪われ、住み慣れた家を破壊され、空襲警報に怯え、戦争によって日常生活を奪われた人々の悲痛な叫びが連日報じられています。

私たちが一人ひとりが、みんなそれぞれに、かけがえのない存在として大切にされ、人間らしく扱われなければならないということ。これが「人権」です。コロナ禍や戦争に直面して、私たちは、今、その「人権」が蔑ろにされている様を目の当たりにしています。

コロナ禍とウクライナの惨状は私たちに「人権」を問いかけています。二〇二二年度は私たちのあらゆる活動に「人権」の視点をもって臨むことが求められます。

医療・介護の活動は、いのちと健康という身近で最も大切な「人権」と直接結びついています。私たちの日頃の医療・介護活動は「健康権」「生存権」「受療権」を保障しているのか。あらためて見つめ直し、その質と量をいっそう追求しなくてはなりません。

人と人との関係を紡ぐ組合員活動を感染対策をしっかりと施して旺盛に進めていくことも大切です。生きていく上で人や社会との繋がりがどれほど大切なものであるのかを会

たい人と自由に会えない自粛生活の中で私たちは痛感しました。平和の活動は、とりわけ憲法を守る運動に特に重点をおいて取り組まねばなりません。

ロシアのウクライナ侵攻を口実に憲法を変えて日本を戦争ができる国にしようとする動きが強まっています。戦場に「人権」はありません。軍備の強化や核の配備ではけっして平和は築けません。平和のために必要なのは憲法を守り世界に発展させることだということをより多くの人と共有していくことが重要です。

「誰が、何故、最も苦しんでいるのか?」「人がウイルスに無差別に感染する一方で、ウイルスが及ぼす影響には差が生じる?」「公共サービスの提供の深刻な脆弱性と、公共サービスへのアクセスを阻害する構造的不平等が表出?」。これらはアントニオ・グテレス国連事務総長がコロナ対応に際して発言したものです。最も困難な状況にある人々に寄り添って活動を進める私たちの考え方と全く通じるものです。

全ての人に平等に「人権」が保障される社会。それは、戦争も、飢餓も、環境破壊も、性差別もない、いのち輝く平和な社会です。「人権」を保障することが何よりも優先される社会は、誰もが健康で居心地良く暮らせる社会に他なりません。

国連事務総長はこうも語っています。「危機において人権を後回しにしてはなりません」と。

地域に寄り添って 生協らしい地域包括ケアの実践

第二六回

妄想「全世代丸ごと地域包括ケア」

本部事務長 藤貞暁子

これまで、医療生協の事業所における事例や医療生協らしい地域包括ケアの取り組みを紹介してきました。地域包括ケアは住まい、介護、医療、予防、生活支援が一体となったシステムの中で、高齢者が安心して住み続けられる地域を作ることです。しかし、現在、地域が抱えているのは高齢者における問題だけではありません。全ての世代で経済格差は深刻化し、健康格差、子どもの貧困、ヤングケアラー、教育格差などの問題は将来の不安を増強させ、近所づきあいの希薄は困った人へ手を差し伸べる機会を減らしてしまっています。

医療生協らしい安心して住み続けられる地域づくりのために、あらゆる世代の人が気軽に集まれる居場所（たまり場）が必要ではないでしょうか。

周りには既に、オレンジカフェや〇〇サロンなどを施設に併設し、地域に開かれた居場所（たまり場）づくりが活発に進められています。これは介護事業所や医療機関が母体となっているものが多く、居場所づくりの点で米子医療生協は一步二歩、いや五歩以上後れを取っているのではないのでしょうか？

では、妄想してみたいと思います。組合員さんから提供して頂いた古民家に、朝一〇時近所の方が集まっています。「おはよう」「あー、久しぶりー」おしゃべりをしながらお茶を飲まれる方、自宅で作った野菜を使ってご飯の準備をして下さる方。お昼も賑やかな笑い声が響きます。お昼を過ぎた頃

には日替わりで健康体操や脳トレ教室が開催され時々、医療生協の職員も参加します。一五時を過ぎると元気な小学生が学校から帰ってきます。「お帰り」「たーいまいー」子ども達との楽しい会話を名残惜しそうにご近所さん達は帰っていきます。夕方になると、高校生や医学生・看護学生が来て子ども達に勉強を教えてくれる学習支援の場になります。組合員さんやご近所さんが作ってくれたバランスの良い夕飯を学生のお姉ちゃん、お兄ちゃんと食べます。その後、学生達は将来の自分の夢に向かって勉強開始です。もちろん、たまり場から地域の困り事や高齢者支援の輪が広がります。買い物付き添い、散歩付き添いボランティアなどです。

退職した職員や理事もボランティアとして生き生きと活動しています。

地域に顔が見える医療生協らしい組合員活動の基盤となるのが居場所（たまり場）になります。すべての人が住み続けられるまちは高齢者にも住みやすい地域です。

米子医療生協は、地域のまちづくりにもっともっと参画していく必要があります。

皆さんもぜひ、地域で自分が生き生きと暮らせるまちを妄想してみてください。妄想が少しずつでも現実になるよう組合員の皆さん、地域の様々な方とのつながりを広げていけるよう工夫していきたいと思えます。そして、医療生協で皆さんの妄想を一緒に少しずつ現実にしていきましょう。

心療科の窓 第99回

対人関係障害各論Ⅶ（まとめ）：対人関係の心理学第15回

歪んだ人間関係⑥夫婦関係の異常⑥腐れ縁⑥



米子診療所 心療内科 岸本 朗 米子診療所 カウンセラー 後藤 百合枝

今回は、良いタイプの「腐れ縁」と悪いタイプの「腐れ縁」とは何が違うのかについて、考えていきます。まずそれぞれの特徴を記載します。

良い腐れ縁とは、お互いが切磋琢磨する人間関係が代表とされています。切磋琢磨とは、互いに競い合い、時には教え合いといった、互いに独立しながら、刺激し合い、誰にも巡って来る困難なときには手を貸す・助力する関係とも言われます。良い意味の腐れ縁は、例えば、小・中学校時代から旧知の仲に使われる長い・深い関係を指して使われています。

この良い腐れ縁の条件は、①それぞれが独立しており、正しいと信じる生き方をしていること、②相手に依存しない生き方をしていること、③相手の生き方が間違っていると感じる時には、遠慮せずに自分の意見を言えることなどが挙げられるでしょう。①②③に共通する中心的概念は、自己の独立・自己尊敬の自覚というアイデンティティ（自己同一性・自分は唯一無二の存在であり、故に生きる価値がある、大事にし・大事にされるべき存在だ）です。この良い「腐れ縁」を保ち続けられ

る仲とは時折、情報交換して、互いに生き方を模索していて心の友とも言えるべき関係を続ける友人が、その代表です。

では一方、悪い「腐れ縁」を見てみましょう。「腐れ縁」の男女関係では前述の①②③が保てない関係で、例えば別れと復縁を繰り返しているパターン、相手と自分の独立性・人間的尊厳を壊す人間関係です。双方のいずれかの独立・自己尊厳が軽くあしらわれているのです。

良い腐れ縁と悪い腐れ縁を分ける基準 先ほど述べた様に、良い意味の「腐れ縁」の違いは、夫々が「これが自分と相手の目指す道だ、揺がずにこの人との関係を続けよう」という「独自性と協調性」が保たれる関係で、逆に相手への依存心（依存する心理には、例えば寂しさから近くにいる既に結婚している相手へ依存するといった刹那的交流や、性欲のはけ口として逢引する場合がある）が強く非生産的な交流を延々と続ける場合等が腐れ縁と考えられます。現在家庭を築いている読者も自分達の関係は腐れ縁ではないかと考えてみて下さい。

腐れ縁という夫婦はどういう関係嗜癖か 最後に「腐れ縁」と言われる関係嗜癖は、どういうタイプの関係嗜癖なのかを考えてみます。我々は人の持つ二大心理から、様々な人間関係異常が生まれることから夫々、①共依存型関係嗜癖、②近似共依存型関係嗜癖、③疑似共依存型関係嗜癖、④共支配、⑤共倒れ共生の五型がある事を発見しました。その結果世界で蔓延するいじめやパワハラは③の疑似共依存（支配）型関係嗜癖であり、アルコール依存症とその家族の関係、他者に強くもたれかかったり、まとわりつく人間関係は②の近似共依存型関係嗜癖、非合法に一部政治権力者のなれ合いによって重要な政治的決断が行われ、往々にして犯罪や自死が引き起こされる政治分野にみられる程度、あるいは会社組織の中で、不自然な昇進・左遷等が行われる人事異動、家庭内で親の暴力で引き起こされる実子殺しは④の共支配型関係嗜癖であると述べて参りました。なおこの共支配型関係嗜癖には、三つのタイプがあり、人間社会で、様々なタイプの犯罪や不幸を引き起こしています。それでは、今回述べている「腐れ縁」の男女関係

とはどのタイプの関係嗜癖なのでしょう。 腐れ縁の夫婦は共依存か、近似共依存か 近似共依存型関係嗜癖とは、依存性が強い人（依存者）が、周りの人にまとわりつくが、まとわりつかれて依存された側（被依存者）は初め、相手に同情・世話焼きするが、世話をしきれなくなると離別する人間関係です。アルコール依存症者とその家族にはこのタイプがよく見られます。被依存者が離れようとする、依存者が面倒をみてきた被依存者に対して、飲酒して泣きついたり、付きまといたり、暴力を振るって傷害事件に発展することも起こります。なおこの近似共依存型関係嗜癖は、初めから双方が依存的な人物間であると頻繁に発生します。だが近似共依存型の関係嗜癖の初め依存する人物は、支配性は強くもなく権力も持っていない

近似共依存型関係嗜癖・腐れ縁の解消法 以上から我々は「腐れ縁」夫婦は近似共依存型関係嗜癖であると考えています。近似共依存型関係嗜癖も共依存グループに入りますので、隠蔽開示（例えば、友人や親族に打ち明ける）だけでは、この二人の腐れ縁は解消できません。あくまで腐れ縁の二人が生計・交流を分離する時・空間分離法が、腐れ縁と完全に決別する方法です。だがこの腐れ縁の二人が縁を切る前に、やってみる方法として、次回（相手と自分を知る（敵を知り、己を知る）こと）によって離婚（時・空間分離法）を避ける方法を紹介していきます。了

了



手を振って「おかえり」弓ヶ浜小学校の下校時見守り隊。



パンバイキング。



本格的なおいしいパンがいっぱいできました。



利用者とスタッフが協力して生地からパンを手作りしています。

デイサービス弓ヶ浜

大高おちらとりの柳会

二月作品

サビが来た回転鈍る年となり
自分流急がずいつもマイペース
脳記録不自然と切れた切れた
血の回転血圧計で計ってる
不自然な動きをすると嘘がばれ
卒寿過ぎ頭回転ゆるくなり
回転焼き評判になり人の列
雨うれしかわいた体しつとりだ
桜散り葉桜となり田植かな
切れかかる赤い糸知る子の笑顔

仲原 誠子
川本美津子
山口 栄子
花田美和子
野口 世子
番原 晶子
原 亨
黒田紀美江
齊藤 将
高田 振作

笑って下さいい いろんな句集より

辞世の句なかなか出来ぬ長生きし
持病に医者顔負けの知識あり
オーイお茶ハイと缶が転がされ

理事会だより

第八回理事会 三月 五日
第九回理事会 四月 七日

四月～三月累計の年度決算速報値の範囲では、事業収益は四億九一一二万円で予算比92・8%、前年比98・8%、經常損益では一一七八万円の赤字でした。

経営改善委員会のさまざまな利用を広げる取り組みや、節約して経費を削減する工夫などの成果が開始しており、訪問看護や訪問リハ、デイサービスの利用回復も合わせて、診療所でも在宅医療を中心に回復してきつつあります。2022年度は一八八〇万円

の税引前剰余の確保を目指して調整しています。

組合員活動は感染対策をしっかりと行なったうえで、米子支部とおおたか支部で保健大学、弓ヶ浜支部では健康ウォーキングを実施しました。おおたか支部では春のレクリエーションを三年ぶりに企画され、チューリップ満開のとつとり花回廊を満喫しました。仲間増やしは一年間で二七六人、出資金増やしは一八五七万円の増加でした。みなし自由脱退が一六九人と、七三万円の減資がありましたので年度末で組合員六五七〇人、出資金一億七三六二万円の生協になりました。

クイズコーナー

夏は水虫警報発令中!

水虫は六～八月のジメジメした蒸し暑い時期に最も多くなります。水虫のタイプは、カサカサと乾燥していたり、ジクジクと湿潤していたりさまざまです。気になる症状があれば、弓ヶ浜診療所の皮膚科を受診しましょう。

ではクイズです。水虫はカビの一種が皮膚に住みついたために起こる感染症です。そのカビは必ず何でしょう。

答え ○○菌

官製はがきまたは診療所の応募用紙でご応募ください。

クイズの答え
記事の中で良かったもの
ご意見・ご感想
住所・氏名・年齢
電話番号

〆切 八月十五日

正解者の中から抽選で五名様に図書カード(五〇〇円)を差し上げます

大久保禮吉さんを偲んで

米子医療生協

常務理事 福岡晴彦

いつまでもお元気なままの大久保禮吉さんでした。心臓は長く患っていたものの、ペースメーカーの調子も良く、八九歳のついで先だってまで介護認定を受けずに元気でおられた。四月に大山町の介護認定を受けられて、介護ベッドを自宅に搬入し、「こりや便利で快適だわ」と言っていた。

四月二二日の金曜日、初めてデイサービスおおたかを利用し、風呂に入りながら「いろんな話をしてくださって勉強になることがいっぱいでした。じゃ、また来週。今度は蝶ネクタイしてくるけんね」と明るい笑顔でお別れしたのに「と担当したデイの責任者が話してくれた。彼女も驚いていたが翌週の火曜日、四月二六日の朝に障害の身にして個展重ね来し

大久保さんは急逝された。

大久保禮吉さんは一九九三年から二年間、米子医療生協の理事だった。役員歴は短い、機関紙「医療生協だより」の編集の中心になって活躍された。趣味は多彩だったがとりわけ短歌と川柳では人をうならせる才能があり、多くの雑誌や機関誌で賞金稼ぎをしていた。飛行機がダメな人で、茨城県で高齢者大会があった折にもトコトコと列車で往復しながら大久保さん手づくりのつまみを肴に舌鼓を打ったことは忘れぬ思い出として残っている。

平和活動、年金者運動はじめ様々な分野で多くの機知にとんだ発信もされた大久保さんだった。話は尽きない。初めてのデイサービスで職員に手渡した短歌が辞世の歌になった。大久保先生、安らかに。合掌

編集後記

「子どもの権利条約」をご存じですか？

「子どもの権利条約」は子どもを権利を持つ主体と位置づけ、大人と同じく、ひとりの人間として持つべき権利を認めています。「子どもの権利」の概念の先駆者と言われるヤヌシュ・コルチャック氏は次のような言葉を残しています。

「子どもはだんだんと人間になるのではなく、すでに人間である。彼らの理性にむかって話しかければ我々のそれに応えることもできるし、心にむかって話しかければ我々を感じとってもらえる。子どもは、その魂において、我々ももっているところのあらゆる思考や感覚をもつ才能ある人間なのである」

子ども一人ひとり、あるいは、目の前にいるたった一人の子どもの権利を心から認めることは簡単なことではないと思います。なぜなら権利は日常生活に深く関わっているのですから。

二〇二〇年にユニセフが行った先進国の子どもたちを対象にした幸福度調査によると、日本の子どもの精神的幸福度は先進国三十八か国中三七位でした。

皆が心からこのコルチャック氏の言葉のように思えるようになれば、日本の子どもたちの幸福度はもっと高まるのではないかと思います。

ユニセフは「子どもの権利条約」を基盤に活動しています。来年は鳥取県ユニセフ協会が設立一〇周年を迎えます。「子どもの権利条約」をもっと広く知ってもらえるような活動ができればと思っています。一緒に活動しませんか？ (鳥取県ユニセフ協会 ボランティア ピグママ)